

リーダーは奪われたことを回復しなさい (内面回復)

→ “一日三作” (ローマ 16 : 25-27)

▶序論

▶レムナントが私より少し欠けている部分があるとしたら、私よりも人生の経験が少ないという部分です。また、私より皆さんの方が良い点は、私よりもっと重要な未来があるということです。神様は間違いなく未来を皆さんの手にお任せになったと思います。その中で皆さんはリーダーです。

▶リーダーは3つのことを知らなければなりません。 - 逃したこと、奪われたこと、新たにすること。とても立派な方々が立派だというその理由のために①逃したことがあります。それを見つけていくリーダーであってほしいと思います。強国もありました。そのために逃してしまいました。結局、強大国が崩壊してしまったでしょう。立派な方が多いです。その立派だという理由のゆえに重要なことを逃してしまったのです。正しい契約を逃したのです。これが第1講義目に皆さんにお話した内容です。今朝、講義したものです。皆さんが正確な契約の中にいらっしゃる、それが答えを受けること以上に重要なことです。正確な契約の中にいらっしゃるならば死んでも構わないというぐらいです。正確な契約の中にいらっしゃるとしたら、死を迎えたとしても構いません。なぜなら、レムナント7人が皆そうでした。皆さんがこちらを回復していただきたいと思います。リーダーが知るべき二つ目のことがあります。②奪われたことがあります。これを回復しなければなりません。明日の最後の講義は、皆さんがまさに③新しい枠で新しくすることです。これには未来が入っています。

▶今日の講義は、これです (奪われたことを回復)。リーダーは奪われたことを回復させる者です。皆さんの年が若いとしても、いくらでもリーダーになれる。皆さんご存知のように、レムナント7人も大人がすべて奪われたこと、逃したことを回復した者でした。彼らは先にその部分を知っていたので揺れませんでした。ローマ 16 : 25-27 を少し参考にさせていただきたいと思います。

▶いまから皆さんは一日に3つの作品を作ってください (一日三作)。これがリーダーです。一日に3つの作品を作ることです。ローマ 16 : 25、26、27 です。これを作ってください。そうすると、皆さんはリーダーになるしかありません。

▶いま 237 センターにおいて訓練すること、新しい枠である 30 個の内容を準備しています。その中の最初のもので。それを今日、大体ですが皆さんにご紹介させていただきます。237 センターにおいて 30 個の新しい枠の中で訓練していくのですが、その一つ目はなにか。一日に、弟子に 3 回連絡することができる人を派遣したいと思っています。可能でしょうか。皆さん、親しい友人や愛する人いませんか。その場合、一日に 3 回、連絡を取ることは絶対可能です。とても嫌いな人に一日に 3 回連絡を取ってくださいと言われたら絶対不可能です。私がエステルさんにメッセージを一日に 3 回伝えたところ、エステルさんが嫌だなと感じるとしたら、私は資格がないことです。相手にそんな思いをさせた私は、リーダーの資格がありません。第一次の 30 の戦略の一つとして、そのような弟子をいま探して立てようとしています。

▶いま言った部分について、なぜそれをやるのか理由が分かりませんと、世の中を変えることはできません。

1) 奪われた内面

▶奪われた内面を取り戻さなければなりません。外見は大丈夫です。ところが、内面の部分を奪われてしまいました。いま (韓国と) 日本との様々な外交問題が出ていますが、それに関係なく考えなければならぬのは、韓国は日本よりも実力がないということです。外側はよくやっているように見えるのですが、中身が無いということです。私たちはサタンにこれを今すべて奪われたのです。これを早くリーダーは理解しなければなりません。

(1) 3 団体 (神憑り^{かみがかり} - 霊が人に乗り移ること) - 3 団体は、毎日集まっています。教会は、重職者たち

を平日に一度集めるということもとても大変です。でも、3団体の人々は、毎日集まります。そして、いま世界を征服しています。集まってなにをしているのか。神憑り運動をしています。これはまったく止められない働きです。

(2) 仏教 - 仏教はなにをしているのでしょうか。仏教の場合は、集まるということよりも個人化させることに優れているのですが、ある人はある部屋に入って何ヶ月間も出てこなかったりします。わざわざそういうことをする必要がありませんが、そういうことをやっています。ものすごいことを奪って、ものすごい問題を作り出し、ものすごく騙されています。

▶問題はいま、3団体や仏教がやっていることは違うと分かっているけど、教会に力がないということです。彼らをいやしていく、より大きな力が教会にあるにもかかわらず、私たちは生かすことができていないので回復しなければなりません。

(3) 宗教、ムダン（霊媒師） - すべての宗教のことを取り上げてお話することはできませんが、各宗教、特に霊媒師の人たち、シャーマンたちを見てください。この人々は結局は滅びるということが分かっているのですが、多くの人々を奪っていきます。

2) 奪われた文化

▶なにを奪っていくのか。文化をすべて奪っていきます。彼らの条件は、神がかっているわけですから、とりあえずはすごい能力があります。簡単に言えば、悪霊にとりつかれているわけです。とりあえずはすごい力があるように見えます。

(1) 音楽 - その力の勢いで音楽を作ります。

(2) 映画 - その力で映画を作ります。すごいでしょう。

(3) 本 - その力を持って本を書いたりもします。

(4) メディア - そして、最近いろいろと発展していますが、各種メディアの力が大きいです。

(5) 神殿、会堂、ロッジ、会館 - また、これらの人々がこの力を持ってすばらしい神殿を作っています。私たちのすべての文化、人が生きていく環境の中にある文化、霊的な文化をすべて奪い取っていきます。これらの人々は所々で静かに会堂を作っています。そして、彼らはロッジも作っていきます。そして、所々で静かに会館も作ります。大きな会館を作ります。所々に作ります。それでなにをするのか。集まるのです。

3) 奪われた経済

▶こういう形でこちらの方向に人が集まっていますから、経済が奪われました。

(1) 貧困 - だから、人々は貧しくなりました。

(2) 崩れる教会 - もっと面白いのは崩れた教会が出てきます。

(3) 崩れる教会堂 - だから、自動的に崩れていく教会堂が生じます。このような状況です。

▶大至急、これは回復しなければなりません。レムナントに一日3回メッセージを伝えることのできる指導者を育てないといけません。それがそんなに重要なのかと思いますか。違います。ナビゲーターという団体があるでしょう。なぜ成功して、どうして失敗してしまったのでしょうか。いまは失敗している状態です。私が思うには結局、福音がないということなのですが。その人たちが耳にすると気分は悪いでしょうけれども、福音を強調しません。でも、彼らは弟子たちに連絡するのではなく、一日3回訪ねて行きます。朝に弟子を訪ねて行って小さなプレゼントを渡します。昼は一緒にランチを食べます。夕方は家に帰宅する前にまた会います。福音もない状態でそんなことをするので、それこそ半殺しでしょう。だからうまくいかないのです。

▶でも、そういうことを通して、なにか考えさせられてしまうのです。どうしていま、彼らにすべて奪われてしまったのでしょうか。いま本当に異端がいるのでしょうか。本当におかしい異端、その人たちを悪く言う前に、私たちはまず知らなければならないことがあります。それらの人々は、簡単に言えば新しい家族が彼らのところに来るとオールインします。私たちは能力がないのか、時間がないのか、それができていません。また、彼らは病人がいたら治るまで訪ねて行きます。その人たちの告白です。自分は生まれてからこのように親よりも自分を愛してくれる人なんて会ったことがないと。皆さんも早くキャッチしていただきたいと思います。

▶いま文化までも奪われてしまっている状態です。そこで、私たちレムナントはやはり違いますから、従っていく文化ではなくて、新しいものを開発してほしいと思います。いま先程のコンサートの舞台を見て、すごく恵まれました。ともに賛美することは必要でしょう。それとともに、皆さんのあるタイムは、賛美は神様にささげるものであってほしいと思います。ペク・ウンギュ、キム・ドシクという方々が伝道師として私たちの教会にいたとき、賛美を導かせました。終わったあと、数週間見てからお話したことがあります。賛美を導く人はあまりたくさんコメントをする必要はない。ただ閉ざされた門があれば、それが開かれるようにコメントするだけで良い。信徒たちが神に賛美をするようにするわけであって、あなたの口を見ながら賛美するようにしないように。あまり多くのことを語るなど言いました。私たちは、本当に主に向かった、主を仰ぎ見る賛美が出なければなりません。本当に主に対する信仰告白の賛美をしてほしいなどと思います。本当の本物の賛美が出てこなければなりません。

▶また、多くの人は悔い改めという話をよくします。私は今まで多くの人に会ってみて、まだまだ損をしてもいないのに、もしかして損をするかもしれないということで、すごく暴れる人をたくさん見ました。それが創世記 3 章です。その部分を悔い改めなければなりません。悔い改めも福音的にしなければなりません。悔い改めをする人を見ますと、その悔い改めもすごく律法的にやっています。悔い改めも肉的にやっています。悔い改めも福音的にやっていかなければなりません。そうだと思いますか。

▶すべての分野においてレムナントの皆さんは、世界を引っ張っていくリーダーになる準備をしなければなりません。いま、全世界からレムナントが集まり、牧師先生方、多くの長老の方々が祈りしてくださっています。この運動を単なる運動だと思っははいけません。神様は時代ごとに重要な働きをなさっています。皆さんを通してなさることです。いま私たちは、なにを奪われているのかを知らなければなりません。

▶本論 - 本当に一日に 3 作できる人、一日に 3 つの作品を作れる人、その作品を持って伝達できる人、こういう人を所々に立てる。

- 1.回復（伝達）→一つ目です。皆さんはリーダーですから、必ず覚えてください。まず回復と言いましたが、なにを回復するということなのでしょう。なにを回復してなにを伝達するのか。
- 2.理由→二つ目です。その回復する理由はなにか。
- 3.目標→そうしなければならない目的はなにか。

▶これをリーダーはキャッチしなければなりません。

1.回復 - 伝達

▶では、まずなにを回復して、なにを伝達すべきなのでしょう。そして、なにを一日に 3 回伝えていくのでしょうか。

1) 使徒 1 : 1、3、8→21 の生活

▶つまり、キリスト、神の国、ただ聖霊が 21 の伝道者の生活になれるように伝達することです。

2) 使徒 1 : 14→5 つの祈り

▶このミッションが重要な 5 つの祈りになるように、必ず回復させなければなりません。他のことを伝える必要はありません。例えば、私は朝に深く黙想するとか、祈りの手帳をやるということ。その祈りの手帳の課題を見るだけで、私になにか近寄ってくるようなメッセージがある。それを伝達すればよいのです。内容は簡潔に。それをまたランチタイムで送ったりする。神様が今日、私に働かれたこと、とても感謝したこと、いのちの運動の部分を簡潔にまとめて伝える。そして、夕方はどうすればよいのか。重要な出来事一つをおいて、メッセージの流れと合わせたものを伝達する。相手は必ず反応します。生きていきます。

▶そして、それが 21 の伝道者の生活になりながら、刻印、根、体質が変わる。それとともに、祈れるようになる。この 5 つとはなんのでしょうか。①感謝する②みことばが見える③集中できる④いやさされてい

く⑤未来が見える。これが5つです。これを伝達していかなければなりません。この部分は、本人がひとりでは味わうことが難しいので、リーダーがそういう部分を少し手助けしてあげるといことです。リーダー自身が恵みを受けた通りに、一つずつ伝えればよいです。こどもに対しても小言を言うのではなく、簡単にリラックスした環境の中で伝えていくことす。

3) 24 (タラント) - 7つのタラント (神様が与えられた私、私のこと、私の現場)

▶24時です。なにを伝えますか。私自身が24時しなければならない部分はなんでしょうか。タラントです。夢です。この部分が7つのタラントの中で①神様が造られた私②私のこと③私の現場、この3つのことをおいて分かち合っていくといことです。これはメッセージを送る人も恵みを受けます。今日はなにを送ろうかという心配事は何一つないと思ひます。62の生活を持って見れば、特に21の伝道者の生活を通して見ていくと正確に見えます。

4) 25、永遠 (答え) - 9つの流れ

▶この時からなにが出来ますか。神の御働きである25時と永遠のものが見えてきます。これを見て答えと言ひます。私たちはこの答えに従っているのです。

▶ここに重要な伝達の内容があり、ここには流れを取り替える9つの方法が見えます。とうとうこの中で流れが変わっていきます。この部分を私たちはやってあげなければなりません。多くの言葉や小言をもってやるのではなく、私たちはいまカオトクもありますから、これらを通して送っていくことす。特に弟子たちに対して、特にひとりぼっちでいるレムナントたちに、特に海外にいるレムナントたちに、または皆さんが担当した地域をおいて、このようにいま要員を置いていこうと思ひています。

5) 237 カ国 (目標) - 20つの伝導戦略

▶237カ国が私たちの目標です。これは神の目標でもあります。そうす。これは私の目標ではなく、神の目標すから、だから、私の目標にならなければなりません。ここから20の答えとともに伝道戦略が出てきます。私の人生がこの62の中に用いられることす。

2.理由

▶いま皆さんがすべてこちらを理解したと思ひます。

1) 多民族

▶多民族です。多民族はいつかはこの国を離れていくでしょう。この国から離れる前に、完全に他のことが入ることができないようにしなければなりません。完全に間違って刻印されてしまっていることが抜け出るように福音を刻印させなければなりません。そして、彼らが自分の国々に戻った時には、弟子になれるようにしなければなりません。理解できると思ひますか。他のことを多民族に伝えるといことは、本当に悪い人です。多民族に他のことを入れてしまうと、外に出て負けてしまひます。自分の国に戻ると信仰生活ができなくなってしまう。なぜなら、まだまだ変わっていないままに帰ってしまったからです。完全に置き換えなければいけません。もうこのような時刻表が来ました。

▶私はとても心で祈りました。そして、祈りの中でこれをやらなければと思ひました。いまアメリカもこのまま放っておいてはいけません。明日お話したいと思ひます。人材を見つけてRUに招待して勉強させたいと思ひます。そうでないとアメリカの福音化は不可能ではなく、絶対不可能になってしまう。多民族です。

▶それでは、聖書をいくつかご紹介させていただきます。

(1) 使徒8:4-8、サマリヤです。ある程度、サマリヤに行って、集中して御働きが起きました。でも、ここでQuestionです。果たしてその後、本当にこの一日三作できるほど回復できたのか。そこがQuestionです。パウロが行った現場はそのように成功しました。

(2) 使徒8:26-40、エチオピアの高官です。果たしてこのエチオピア人が、この回復の部分を継続されたでしょうか。なぜ神様は宣教の門を開けられた一番初めにアフリカを選択したのでしょうか。私が歴史的に見ると、アフリカはなんの間違ひもしていないのですが、全世界の奴隷として売られてしまひ

ました。とても重要な理由が多いです。

▶一日に3回接触してほしいです。それがリーダーです。その実力がなければ、他の実力もないと思います。「私はお母さんのしつこい小言を聞きたくありません」。良い母親ではないはず。「私は妻と一緒にいるのが負担になります」。良い妻ではないと思います。絶対違います。皆さんが一日に3回連絡をして、相手にうざいと思われてしまったならば、それは良い人ではないということなのです。考えなければなりません。

▶これからはあまりチャンスがありません。別のことを一切してはならないということです。ローマ 16:25 に世々に渡って隠されていたこと、26 節はいまや現されたこと、27 節、そして、永遠に残ることを一日三作残していかなければなりません。多くのこともしなければならぬのですが、神様は必ずしもそれを望んでいません。正しくしなければなりません。多くの人と付き合うことも重要ですが、弟子を立てなければなりません。多くの人が行き来することもいいのですが、いかに弟子を作り出していくかということです。絶好のチャンスが来しました。

(3) 使徒 10:1-45、もう一箇所だけお話しします。使徒 10:1-45 コルネリオです。コルネリオがいま言った一日に三作、うまくできたでしょうか。知ることはできませんが、私は Question です。私が思うにこの背景から見ると、コルネリオは非常に苦しめられていた、飢え乾いていた人であることは確実です。なぜなら、この人は神様が備えてくださった人だからです。飢え渴いていたのは、神様がそのようにしたのです。理由があって。

2) レムナント

▶レムナント。レムナントを、私たちは放置しておきました。これからはレムナントたちに生きられるように生きたみことばをもって継続的に接触していかなければなりません。ある日、とても力のない、無気力なままであったのに、みことばを聞いて生きるようになった。とても大変でひとりぼっちだと思っていたのに、みことばの力で生き返った。このような弟子たちが世界中にいなければなりません。

▶私は祈りながら本当に空っぽになっている現場を調査してみると、45カ所出てきました。45個の現場が見えたので、私は30個にまとめて縮めました。時間がたくさんはないので30個に縮め、ひとつひとつの現場としてのカテゴリーにして、神様の新しい枠を作らなければなりません。このレムナントという単語について、いま説明しようとする時間がありませんが、①レムナントの年頃というのは祈ることができません。そうですよね。だからこそ祈れるようにさせてあげなければなりません。レムナントという言葉は、皆さんすでに分かっていますから次に行きます。②レムナントという時期は、最初の機会であり、最後の機会です。留学に出ている学生に複雑なメッセージをするのではなく、本当に集中的に生きるメッセージを与えると生かされます。だから③レムナントの時期こそが、永遠な機会になれるように助けてあげることです。

3) 崩れた者/病人

▶三つ目です。崩れた者です。または、病んでいる者。

(1) 精神病 - 一番多い病気、一番大変な病気が精神病です。

(2) 中毒 - そして中毒です。

(3) 墮落(犯罪) - 精神病、中毒よりも危険な病気が墮落です。墮落すると犯罪をしやすくなるからです。生かしていかなければなりません。このような人をみことばを通して生かしていかなければなりません。

▶ヨーロッパに行ったら、遠くの地域でレムナントがひとりぼっちで教会もなく大変だということを伺いました。でも、内心、それは話しにならないと思いました。私がヨーロッパにいる牧師、重職者であるならば、そういうレムナントに毎日このメッセージを送ると思います。私が中高生を担当していた当時は、携帯電話がなかった時代でした。私の家にも電話がありませんでした。当時はそうでした。幸いなことに、教会行けば電話がありました。私も学生だったので、学校が終わった後、放課後は教会に行きました。教会で宿題をしました。そして、教会の電話をもって中高生全体に連絡を入れました。それだけをやったのに、子どもたちに変化が起きたのです。私たちは本当に深いところにある内面はよく見ません。うわべだけをしきりに見えています。そうすると、結局は負けます。すべて奪われてしまいま

す。皆さん、この契約を今日正しく握ってください。

3.目的

▶私たちがこれをする目的はなんですか。

1) まことの契約の旅程

▶まことの契約の旅程を歩むようにさせるためです。これは子どもたちに干渉するわけではありません。配慮することでもありません。助ける、それも違います。まことの契約の旅程をともに歩むためにやっ
ていくのです。

2) まことの祈りの旅程

▶まことの祈りの旅程を歩めるように助けることです。

3) まことの伝道と宣教の旅程

▶まことの伝道と宣教の旅程を歩むために助けることです。これで結構です。

▶そうすると、皆さんに沢山の答えが与えられますが、どのようにその答えが来たかということは、いちいち考える必要はありません。さらになにまでしたかという、学生たちが学科目のうち、どの勉強が得意で、なにが苦手か、そんなことまでよく調べました。それでこそ、ひとりひとりに対して正しくよく祈ることができるからです。そして、彼らが夏休み、冬休みを迎えたときに、その休暇期間を利用してなにかができるからです。例えば、自分は会長になりたくなかったに、仕方がなく会長になってしまった子がいました。この子が教会の雰囲気ですべておかしくしてしまうわけです。自分が会長であるのにもかかわらず。私はその子を祈りながら注目して見ました。そして、理解したのです。彼の立場を。彼は日曜日に教会に来ることを嫌っていました。なぜなら、自分の母親がいるところは別にありました。父親は信仰がありません。祖母は信仰が良いです。父親は若い飲み屋さんの女性に会って家に連れて来たりもしていました。もちろん私はその家庭の事情は分かっていたのですが、知らぬふりをしていました。その会長である子がちょっと曲がってしまった理由、家庭の事情を知って理解し、その子にただ電話を入れました。理解して祈りが出てきました。後にその子が、私に心を開いてくれました。この子が変わるぐらいになったのです。会長が変わったので、当然教会の雰囲気がよくなりました。私がしたことはなにもありません。ただ電話を入れただけです。それはそんなに大変なことではありません。激励の言葉をかけてあげたりただけです。この子が最初は伝道師さんから電話がかかってきたという感覚でいたのですが、定期的に私は電話を入れ続けました。メッセージ一つずつ簡単に渡しました。簡単なことです。後にこの子がどういう子であるかということは、教会の人たちはみな知っています。その子が、このようなことを言いました。私は大学に行かずに高校を卒業したらすぐに軍隊に行く。そのように自分の友人に言っていたそうです。軍隊に行くときには、私は親にはなにも言わないで勝手に行くと言っていたそうです。その言葉は、家に対する傷がとても大きいということでしょう。ところが、意外なことを話したそうです。私は伝道師さんには連絡して軍隊に行く。それはなんでもないような言葉かもしれませんが、私の気持ちを理解してくれたということでありがたかったです。その子が私の心を受け取ってくれたなということを感じました。皆さん、深みのある弟子の働きをしてほしいなと思います。そして、生かしてください。

▶結論 - 一日三作の奥義

▶一日に起きた3つの作品の奥義、その奥義は3つあります。

1) ローマ 16 : 25、福音の力の秘密

▶ローマ 16 : 25。第一の奥義です。福音の力と、とてつもなく大きく隠された奥義です。福音の力とともに隠された奥義です。どれほど感謝なことなのでしょう。

2) ローマ 16 : 26、237センターの30個の新しい枠組み

▶ローマ 16 : 26 です。これはいまや現されたということのために、毎日、毎日違います。私はこれが

237 センターの 30 個の新しい枠を通して見るようになっていきます。

3) ローマ 16 : 27、永遠

▶そして、ローマ 16 : 27 はなんですか。永遠です。

▶このような答えを味わってほしいと思います。皆さんはとても重要なリーダーです。この答えを持ちますと、世の中を率いるリーダーになれます。どのように皆さんが世の中を引っ張っていくことができるでしょうか。神様が答えを与えてくださいますと、自分で引っ張っているわけではなく、主が引っ張るようにしてくださいます。考えてみてください。私たちが家に帰って両親を教育できますか。できません。しかし、皆さんに答えがあると、親もついていくしかありません。また、私たちがどのように世の中の人々を集め、ああしなさい、こうしなさいとうるさく言うことができるでしょう。特に皆さんの年頃だと、そんなことはできません。しかし、皆さんの年齢でも答えを受けると、いくらでも世の中がついてくるのです。それがまことのリーダーです。まことの疎通は言葉によってなるものではありません。なにも言わなくても通じるものです。まことのリーダーは、自分で引っ張っていこうとしなくてもついてきます。これは一生涯の答えです。レムナントのときに受けていきましょう。

▶今回のリーダー修練会から始めて本大会をおいて、本当に受けた答えが皆さんの残りの人生の中に積み重なっていくはずです。自分でなにかをしようとすると大変かもしれません。そう考えずに、大会を仕事だと思ってやることなく、すべてのプロセスは私の一生の答え、土台だと思ってください。もしかしたら、皆さんを難しくさせる人がいるかもしれません。けれども、そのように難しい人だと思わずに、一生涯の私の土台になるはずだと思ってください。本当に祝福を受ける皆さんに神の祝福がそのまますべて伝達されることを主の御名でお祈りします。

(祈り)

すべての問題の解決者であるイエス・キリストの恵みと神様の大きな愛と聖霊の御交わりとが、未来を生かすすべてのレムナントの上に、いまからとこしえまでいつもともにありますように。アーメン